OptiMate PRO-1 DUOの パワーサプライモード使用方法

図解取扱ガイド / 車両診断・電源サポート・交換時のメモリー保持

13.6V	最大8A	3回操作
安定化出力電圧	パワーサプライモード時	ボタンを押して離す

エンジン停止中の車両電装品への電源補助や、車両診断・トラブルシューティング時に使用します。充電モードとは異なる機能です。

1 接続する場所を確認する

基本接続図 / 一般的なマイナスアース車



※ 車両メーカーの指示を優先。プラスアース車は取扱説明書を確認。

赤（＋）を先に、黒（－）を後に接続

一般的なマイナスアース車では、赤クリップをバッテリー＋端子へ、黒クリップをバッテリーから離れた車体アース／エンジンブロックへ接続します。燃料配管や薄い車体パネルには接続しないでください。

作業前の準備

SW1をOFFにしてから接続します。火花・炎を避け、換気を確保し、ケーブルを可動部や高温部から離してください。

パワーサプライモードを開始する

接続 → バッテリー状態を確認 → モード選択 → 出力を確認

2 使用前のバッテリー条件

パワーサプライモードは、診断補助として使用する前にバッテリーを十分に充電してください。

バッテリー種類	十分に充電された目安	備考
標準液式鉛	12.4V以上	使用前に充電状態を確認
密閉型AGM	12.6V以上	車両・バッテリー指定を優先
LiFePO4	13.2V以上	対応バッテリーであることを確認

3 接続・モード選択の手順

1. 本体側面の電源スイッチ SW1 を OFF にする。
2. 赤（＋）クリップをバッテリーの＋端子に接続する。
3. 黒（－）クリップをバッテリーから離れた車体アース／エンジンブロックに接続する。
4. 極性と接続を確認し、クリップ同士が触れていないことを確認してから、AC電源を接続し SW1 を ON にする。
5. LED #1a と #1b が同時に点滅した場合は逆接続。SW1 を OFF にし、正しく接続し直す。

4 パワーサプライモードを選択する

起動後、Pb（LED #1a）、LFP（LED #1b）、Su（LED #2）の選択表示が弱く点灯します。選択ボタンを押して離す操作を3回行い、Su（LED #2）のみが選択表示になったことを確認します。接続バッテリー電圧が11V以上の場合、LED #6・#7・#8 が点灯して出力中であることを示します。

開始できない場合

LED #1a と #1b が同時に点滅している場合は、逆接続の可能性があります。AC電源を切り、極性を確認して接続し直してください。

LED表示の見方と異常時の対応

パワーサプライモード中のLEDは、通常充電時とは意味が異なります。

5 LED #6・#7・#8で出力状態を確認

LEDの点灯状態は出力電圧と負荷の目安です。

#6・#7・#8 点灯	13.6V	電流消費が8A未満。通常の出力状態です。
#7・#8 点灯	12〜13V	電流消費が最大付近。負荷が大きい状態です。
#8 のみ点灯	11〜12V	電流消費が最大付近。接続機器や負荷を確認してください。
#8 点滅	11V未満	2分以内に11Vを超えるまで回復しない場合は出力停止。9V未満では直ちに停止します。

異常表示：Su（LED #2）が点滅し、LED #6・#7・#8 が消灯

逆接続、短絡、過負荷、AC電源の中断などが考えられます。原因を取り除き、選択ボタンを押して離して出力を復帰させ、表示を再確認してください。

出力仕様の区別

仕様	値	意味
充電出力（本体銘板）	12V 10.0A / 12.8V 9.5A	充電モードの定格です。パワーサプライモードの出力ではありません。
パワーサプライモード	安定化13.6V、最大8A	車両診断・電源補助時の仕様です。

パワーサプライモードは、バッテリーを外しても出力が有効なままです。クリップ同士を絶対に接触させないでください。

終了の手順と安全上の注意

パワーサプライモードの出力を停止してから、車両側の接続を取り外します。

6 パワーサプライモードを終了する

1. 本体側面の電源スイッチ SW1 を OFF にする。
2. AC電源コードをコンセントから抜く。
3. 車両接続時は、車体アース側のクリップを先に外し、その後バッテリー端子側のクリップを外す。
4. クリップ同士が触れないように保管する。

7 必ず守る注意事項

注意事項	補足
AC電源が入ったままDCクリップを接続・取り外ししない	接続前はSW1をOFFにし、接続後にAC電源を入れます。取り外し時はSW1をOFFにしてACコードを抜きます。
クリップ同士を接触させない	バッテリーを外しても出力が有効な場合があります。
火花・炎の近くで使用しない	バッテリー周辺では可燃性ガスが発生することがあります。換気を確保してください。
ケーブルを可動部・高温部から離す	ファン、ベルト、プーリー、排気系、燃料配管に触れないようにしてください。

参照資料・本書の位置付け

TecMate公式「OptiMate PRO DUO / TM-650 取扱説明書」Section B（バッテリー接続）、Section 3（START - SUPPLY）に基づき、図解用に整理しています。車両メーカーの指示および製品付属の正式取扱説明書を優先してください。